

教育  
相談室

# カウンセラーの窓から

## 気づきたい、自立のサイン 直したいジコチュウって？

中学生のトモヤ（仮名）君が相談室にやって来ました。

近頃、周りに乱暴な言葉を吐いてしまったり、学校に行きたくない日があったりしたからです。

「僕はジコチュウだから、それを直したいと思って…」と、トモヤ君は話しました。「そうか、自分のことを自己中心的だっと思うんだね。」

「はい、そうです。」誰かに言われたことがあって、そう考えるようになったの？と問いかけると、ちよつと間を置き、「家で言われるかなあ。自分でもよく分からないけど、イラツとくる時があつて…」と、トモヤ君は答えます。

夏休みが明けた頃から、弟たちとの喧嘩が増えました。宿題をなかなか始められず、お祖母ちゃんにまで、「うるさい。」と、口答えをしてしま

うこともありました。

兄貴としてしつかりしていたのに、現実にはそうできない自分に苛立ち、周りに反抗的になっていったようです。

「うーん、それでは辛いよね。どうしていくといいかなあ。」「だから、それを相談しに来たんです。」と、トモヤ君。後日、ご家族にお会いして家庭での様子を尋ねました。

「朝は機嫌が悪く、むっつり黙っています。私が話しかけても、無視して返事をしない時があつて、ジコチュウだと言ったかもしれません。お父さんは、反抗期だから仕方がないと言うけれど…」と、お母さん。気分がころころ変わる子どもが理解できず、インターネットのサイトで、安心できる言葉やアドバイスを、探していたこともあったそうです。

そこで、ジコチュウに見える行動を、

「自分を大切にできる子に育っているサイン」なのだ、長所として見方を変えてみるよう提案しました。そうすると、母親は、腹立ちや叱った後の落ち込みも少しは収まり、気持ちに余裕が持てるようになりました。

一方、「仕方がない…」と、改めて口出しはして来なかったお父さん。トモヤ君が自分から相談室に行ったと知って、我が子の「成長」に驚き、放りっぱなしも良くないな、と反省しました。

何らかの変化が子どもに表れた時、これって自立のサインかも？と気づいたら、静かに見守る時期

も大切だと思います。

しかしその間に、もし、思いやりに欠けた言葉づかいや、態度を感じたら、毅然として、「それはダメ。自分はこう思う。」と諭すことは大事です。そこには、社会のルールやマナーを教える、父性的な出番が必要でしょう。

(T・S)

「はぐみ」は、家庭のあり方についてみなさんと一緒に考えていきたいと発刊しております。子育てのヒントになればと思います。ご意見をお聞かせください。

鯖江市教育委員会生涯学習課  
TEL 53-22256

**子どものケータイ 要注意**

- 深夜・授業中に利用していませんか？
- メールやネットで、いじめの被害者・加害者・傍観者になっていませんか？
- ブログやプロフ、掲示板などで個人情報を出していませんか？

携帯電話には、違法サイト以外にも危険がいっぱいです。子どもの安全管理は、保護者の責任です。

発行  
鯖江市教育委員会  
鯖江市社会教育委員会  
青少年健全育成鯖江市民会議  
協力  
丹南青少年愛護センター鯖丹支所

45号

# はぐみ

家庭教育を考えるシリーズ

## あなたがいるから 私はしあわせ



惜陰小学校『とったぞー！』



立待小学校『さつまいもトリユフ、おいしいね』



鯖江中学校『文化祭』



神明幼稚園『よ〜し、当たれ！』



# 子育て七箇条

# 子育ては、息がないで

毎日の子育てを楽しんでいますか。子どもが自分の言うことを聞いて「いい子」でいるときは楽しいけれど、ぐずったり、泣きわめいたりすると、どうしたらいいか分からなくなって、辛くなってしまふこともありますね。

子どもの成長とともに、親としても成長をするのだと分かっていても、「どうしたらいいの」と不安でいっぱいになることもありますね。今回は、子育てのヒントになれば、と「子育ての七箇条」を作ってみました。



**その3**  
「あわてなくていいんです」

子どもには、それぞれペースがあります。すぐに返事をできなくてもじっくり考えています。ゆっくり待ってあげましょう。

**その6**  
「すごいね。素晴らしいね！」

子どもと一緒に、感動していますか。子どもがしていることに共感していますか。少ししか子どもと接する時間がない方は、なおのこと、感動したり共感したりする時間をもちましょう。夜空を見て、お月様を見て一緒に感動しましょう。

**その7**  
「がんばったね」

結果だけで褒めたり、しかったりしていませんか。結果が出なくても、子どもたちががんばったプロセスをしっかり褒めてあげましょう。また、次のやる気につながります。

**その1**  
「あなたを信じてる」

子どもたちは信じてもらえると、すごい力を発揮します。信じ切ってあげましょう。

**その2**  
「あなたなら、どうする？」

親が、決めてしまうことは簡単ですが、一度子どもに聞いて、選択させましょう。子どもが、自分でしっかり考えるようになりますよ。

**その5**  
「何が、理由があるんでしょう？」

子どもが、泣いたり、ぐずったりしていることには理由があります。ゆっくり聴いてあげましょう。聴いて認めてあげれば、子どもは安心します。

**その4**  
「失敗は、素晴らしい経験です」

子どもに失敗させたくないばかりに、先に先にと、手出しをしてはいませんか。失敗や挫折は子どもにとって大きな力になります。

## 子どもとの会話を楽しみましょう

最近では、スマホやタブレット端末など様々な情報機器やアプリがあり、子どもたちはおとなしく一人遊びをしていると聞きますが、一番大事なのは温かい会話です。人と人とのコミュニケーションが子どもの心を育てます。機械では育ちません。笑顔で話すことほど楽しいことはありませんね。



## 「子どもの問題には理由がある」

**涓滴**

今、保護者の保育の悩みの中に「しゃべらない」「食べてくれない」が多いそうです。子どもがそうなるには、理由があるようです。

スマホなど、情報端末での子育ての話が聞きました。タッチパネルの中に子どもを「泣きやませる」アプリがあり、子どももそこから流れる音楽やお話のお陰でゆっくり眠るといいます。親も安心して、タッチパネルに任せているというのです。

でも、これでは、しゃべらない子に育てているようなものです。子どもは、相手がいて、何か伝えたいから泣いたり、話したりします。感情を働かせながら、感情が発達してくるのです。話さなくなるには、理由があるのです。話さなくてもよい環境が、子どもの話す力を弱めていくのです。子どもの環境を一度見直してみたいものですね。

「食べてくれない」という問題も同じです。いろいろな食べ物がありますが、一度嫌いになると、なかなか食べようとしなくなるのです。そんな時、お母さんが「おいしいね」と語りかけたり、笑顔で食べて見せたりすることで、子どもはお母さんをモデルにして、やがては食べるようになります。大切なのは、会話をしたりしながら食事をするということです。楽しい食卓での会話が、子どもの言語環境になるのです。

「しゃべらない子」を「話す子」に育てるために、「食べない子」を「食べる子」に育てるためには、関わりが大切だと言えます。手間はかかりますが、その手間こそ子育てのよい環境になるのです。子どもは、植物と同じで、手間をかけていけば、健やかに育っていきます。保護者とのじっくりした関わりや人との関わりが、豊かな子育ての環境になり、やがて子どもは大きく育っていくと思えます。

「涓滴」とは「しずく」という意味。しずくも集まれば、やがて大河となることの願いを込めて。